「賃金と物価 好循環期待」

エコノミスト森田さん講演

東信倶楽部

東濃信用金庫（多治見市）の取引先の経営者でつくる東信経済倶楽部の新春講演会が、同市虎渓山町のとうしん学びの丘エールで開かれた。野村証券チーフエコノミストの森田京平さん＝中津川市出身＝が「30年の眠りから覚める日本経済」をテーマに語った。

森田さんは昨年前半から日本の株価が上昇していることに触れ、「賃上げと値上げがついに日本で定着するかもとの期待に押し上げられている。（日銀も重視する）賃金と物価の好循環が進む期待が持てるようになってきている」と今年の日本経済を展望した。

日本の現状として15歳以上人口が急減していること、女性や高齢者は既に働いている人が多く新たな労働力とは見込めないことなど人手不足を強調し、「目覚まし時計が同時に鳴り響いている状態」と例えた。企業の賃上げ、値上げ行動に加え、転職希望者が就業者の6人に1人に当たる1千万人へと急増した変化から、労働者の移動に注目し、「『失われた30年』からの覚醒のきっかけになり得るという、投資家の評価につながっている」と分析した。

講演会は448回目で、約100人が耳を傾けた。（小森直人）



今年の日本経済を展望する森田京平さん＝多治見市虎渓山町、とうしん学びの丘エール

無断複製・転載を禁じます